

定例市長記者会見録

日 時：5月25日(月) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、読売新聞、朝日新聞、NHK

(市長)

緊急事態宣言が解除されそうな、大変なお忙しい時期にお集まりくださいますとありがとうございます。今日の月例記者会見では、いろいろ資料をとり揃えておりますけれども、順番にご説明申し上げます。

まず、資料ナンバー1：一宮市緊急経済対策(その2)でございます。緊急経済対策(その1)につきましては4月の終わりに記者会見で発表させていただいて、5月7日に市長専決処分という形で、ひとり一律10万円のほかに、一宮市独自の、モーニング中心の喫茶店への休業協力金など進めさせていただいております。今回は6月議会が来週から始まりますけれども、そちらへ補正予算で出す経済対策について、ご紹介申し上げます。

1つ目が、3密対策リフォーム等補助金ということで、政府からもたびたび「新しい生活様式」ということが言われております。コロナウイルスと共存していかなければならないということで、これまでと同じように市民の皆様が安心して外出していただければよいわけですが、同じようにやっていると第2波で痛い目に合うかもしれません。そこで店舗などで、間仕切り、衝立、ビニールの囲いなど、または3密対策で風通し良く網戸を付ける場合もあると存じます。お客様や従業員用に手洗い場を増設するなどということもあるかと存じます。こうしたリフォームの3分の2、最大20万円を補助させていただくということで、3密対策リフォーム等補助金を6月補正予算(案)として、市議会に提出することにしてあります。対象経費の下限は3万円、補助金額の上限は20万円に設定しておりますが、平均10万円相当で800件、予算額としては8千万円を計上しているところです。

2つ目が、雇用調整助成金申請支援金でございます。厚生労働省で、企業・会社ができるだけ社員の雇用を守ろうということで、社員を解雇することなく休業させた社員に対して支払うお金に対して国が支援することになっているんですけれども、こちらがなかなか進んでいないという状況になっております。申請に当たっては、当初、書類上で73項目もあったのを38項目に減らしたということですが、それでも進まないということで、我々自治体としても地域の雇用を守っていただくために、ぜひ、企業・事業主の皆様には厚生労働省の支援金を使っていただきたいということで、申請が難しいということをお聞きしますので、社会保険労務士事務所をお願いするお金を想定しまして一律5万円を用意させていただいております。400件ほど使っていただいて、2千万円程度は対応できるようにということで、6月補正予算に盛り込んでおります。

3つ目の複合商業施設等入居事業者休業協力支援金ということで、愛知県の休業支援の対象としまして、大型商業施設がありました。この地域でもショッピングモールとしてイオンモールさんやテラスウ

オークさんがありますけれども、そうしたところに対する休業要請に伴いましてショッピングモールと同じフロアに同居しているために、お付き合いで休業を余儀なくされた小型店舗さんがいくつかございます。そうしたところ最大50件を想定していますが、その店舗に対して1事業所当たり20万円、愛知県からも10万円の補助が出ることになっていますので、複合商業施設に入っていることで、休業協力に伴い、休業を余儀なくされた中小企業の皆様をお救いできるようにということで、6月補正予算(案)に計上しております。

最後の4つ目ですが、こちらは予算の組みかえ等はしておりませんが、もともと令和2年度予算に入っております貿易振興事業等補助金の拡大ということでございます。現在、残念ながらこうした見本市といったようなものがどんどん取りやめになっているのですけれども、夏から秋にかけて国内外——ミラノやパリであるわけですが、そこでぜひ、春夏物だけではなく秋冬物、年に2回自分たちの商品——主に繊維産業を想定していますが、PRに行きたいという方達に、海外展示会でしたら最大1回当たり30万円を年1回ではなく年2回支援するというように制度改正、規制緩和を行うことにしております。

以上が、一宮市「緊急経済対策(その2)」詳細でした。

資料ナンバー2:「今、できることプロジェクト」ということで、市民の皆様の善意をいろんなところに繋ごうということで、ボックスを置かせていただき、ご家庭で使う予定のないマスクや消毒液などをまとめて市内の医療機関や高齢者福祉施設、障害者福祉施設といったところにお配りしようというプロジェクトです。おかげさまで、先月から市への寄付として、マスクや医療ガウン等をたくさんいただきました。ただどうしても、何千万枚、何万枚といったものが多かったことで、市民の皆様、小口の善意ということで、自分達も寄付したいんだけどということにうまく対応できていないこともありましたので、今回、取りまとめて一定量になったものを必要としているところ、特に医療機関だったり、福祉施設はマスクがいくらあっても足りないということなので、第2波がくるだろうといわれていることもあり、備蓄に向けても市民の皆様の善意を活かせるようにということで、市民の皆さまから回収したものを、必要なところに配布するというつなぎを行っていく予定です。早速、明日から市内各地にボックスを置くことにしています。

最後、来週から6月定例会が開会しますが、6月補正予算(案)に計上された主な事業で、私から説明いたしますのは1ページの1番、高齢者安全運転支援装置設置補助金でございます。お年寄りの車の運転でどうしても事件・事故が発生してしまうということで、ブレーキセンサーなどの急発進等抑制装置の設置費用について、国が半分を補助してくれますが、その残りに対して5分の4の補助を行うことにいたします。ただ、愛知県の補助金が入りますので、愛知県内の市町村ほぼ足並みをそろえて対応すると受け止めておりますので、市内にお住まいのお年寄りは自動ブレーキについて自己負担がほぼ1割で取り付けられるようになります。

2番は、特殊勤務手当で、新型コロナウイルス対策ですが、国に倣った金額で、医師、看護師、救急搬送した職員に特殊勤務手当を支払えるように予算を計上するものです。

4番、5番はコロナ対策で、スタッフの増員や費用の増額に対応するものでございます。

6番は、先程の緊急経済対策その2で、補助金・支援金の3つについて計上しております。

7番は、七夕まつり中止に伴うもので、もともと4千万円ほど予算がありましたが、3千万円ほど減額させていただいて、残り1千万円で繊維事業の新規商品の開発、空き店舗解消リフォーム補助金、観光協会負担金や、だいたいフェスタ負担金に使う予定にしております。減額した3千万円につきましては、先ほどのリフォーム補助金や、コロナの緊急経済対策に回ったということでございます。2枚目も、弁護委託料の関係がいくつかございますが、ご関心の向き、後ほど担当に、直接お聞きください。

最後は、制服プロジェクトでございますが、さらに加速させるということで、専門委員会を設置するその予算を計上させていただいております。

私からの記者会見資料の説明は、以上でございます。ご質問などございましたら、よろしくお願いたします。

質疑応答

■一宮市緊急経済対策（その2）

（記者）緊急経済対策（その2）ですが、すべて中小企業対策ということですか？

（市長）全部、中小企業対象です。

（記者）3密対策リフォーム等補助金は、めずらしいのか？

（市長）先週、岐阜市さんがやられていましたけれど、岐阜市さんのやり方は、一律5万円で配るところになってました。全部配るというやり方もあるが、一宮市としてはもう少し対象を絞って、実際にどういう形で「新しい生活様式」に対応できるような工夫をしていただいたかというところを踏まえた上で、補助金を出そうということで、こうした制度を用意することにします。補助率3分の2ですので、補助金としては補助率が比較的高いメニューであると考えています。

（記者）リフォームは店舗が対象ということか？

（市長）店舗のみならず、市民がお客様として足を踏み入れるところであれば、例えば学習塾であったり、稽古事の教室であったり、接骨院であったり幅広く捉えられるよう、補助要綱の枠組みの設計に入っています。

（記者）3密対策リフォーム等補助金だが、テイクアウト用カウンターを設置、換気設備、網戸設置などが対象なのか？

（市長）そうです。あと、議会の議決は6月ですが、工事自体は4月や5月の緊急事態宣言の時に行ったものも対象にできるような案で議会に提示する準備を進めています。遑って有効、遑って補助金が使えるように仕組みを考えているところです。

（記者）こういうリフォームは、事業者の方達は実施しているのか？そういう需要が増えてきて、こういった補助を行うということか？

（市長）私が見ている限りですと増えています。テイクアウト用のカウンターを出して、のぼりも立てて、「テイクアウト始めました！」というようなことが多く見受けられます。ただ、テイクアウトだけではなく、おそらくこれから緊急事態宣言が解除されて、お店にお客さんに来てもらう

という、席に衝立を立てるとか、店の室内のリフォーム需要は増えてくるだろうと。そこに
対応できるように、また、そういったものがされていると市民の皆さまも安心して出かけやす
くなるので、そういった流れを応援するためにこの補助金を考えています。

(記者) 一宮市独自のものとしてはどれになるのか？

(市長) 3密対策リフォーム等補助金はどうでしょうか…岐阜市さんは一律5万円でやられています。
県内でデリバリーやテイクアウトを先行して応援しているのは他の市でもありますが、網羅的
に行うのは比較的新しいです。お店の中、内装も含めて総合的にというのは目新しいです。あ
ともうひとつ、店舗商業施設に限らず、学習塾や非商業施設まで含めてということもです。

(記者) 客商売をやっていなくてもよいということか？

(市長) 学習塾やお稽古ごとが客商売かどうかということについては、意見が分かれるところだと思
いますけれども…

(記者) 事業所ではなく、外部の方が来て受講してみえる広い意味での客商売ということか？

(市長) あとは、ゴルフの打ちっぱなしとかバッチェンセンターとか、スポーツ施設でも何か対策が
されていて、広く市民の方がお客様として入ることができる、開かれた施設であれば含めたい
と考えています。

(記者) 3密対策リフォーム等補助金は「県内初」で良いか？

(商工観光課長) こういった形（店舗商業施設に限らない）としては県内初です。

(記者) これは完全に市独自の予算か？

(市長) 市独自の予算です。

(記者) 複合商業施設等入居事業者休業協力金についてはどうか？

(市長) 複合商業施設等入居事業者休業協力金は、県から補助があります。

■報酬

(記者) 稲沢市と江南市では、市長や副議長、議会を含めて報酬の減額が提案されているようだが、一
宮市はどうか？

(市長) 議会と話し合いながら考えていきたいと思っています。先週、新しい議長、副議長、各常任委
員会委員長に体制が変わったばかりですので、これからというところなんです。3月議会の段階で、
特別職報酬等審議会から、我々の給料を上げてはというご提示をいただきましたが、それは取
りやめたが、恐らくこの時期より経済情勢はより厳しくなってくると思っていますので、そこ
は我々と議会との間での一つのテーマと認識しています。

■補正予算（案）

(記者) みんなの制服プロジェクト関係経費について、プロジェクトの結論はいつまでに出すのか？

(市長) 当初は3年くらいかけて議論することになっていたが、前倒しで、今年1年間は議論します。
来年4月からというのは無理なので、早くて再来年4月になります。

(記者) 尾州産のもので新しい制服にしたいということか？

(市長) 変えるのであれば、生地で地域のシビックプライド、中学生が誇りに思ってもらえるように、尾州産をうまく使えるといいと思っていますが、経済性と歴史と伝統の両立というところのバランスです。そこを、保護者の皆さんからアンケートを取りましたが、その聞き方も含めて、もう1回、違う形でキャッチボールした上で判断したいと思っています。有体に言うと、1回行ったアンケートでは、漠然と尾州について聞いてしまって、尾州は高級品というとらえ方をされてしまいましたので、必ずしもそうではないやり方もあると。それで我々も繊維業界とキャッチボールしながら探していますので、もう一度、保護者の方や子ども達と議論を進めるため準備を進めています。

(記者) すべての学校で対応ということか？

(市長) できればすべての中学校で揃えられるとよいが、先行している地域の話を知っていると、必ずしもそうならないところもあるようですので、それはそれでいいと思います。福岡市さんは、確か50中学校のうち四十数校で変わり、数校の中学校で詰襟とセーラー服が残ったそうですが、一宮市も基本的に最後は校長の決断となりますので、地域で考えてもらえればよいと思いますが、議論の方向としては、できれば一宮市全体で合意が得られればよいと考えています。

(記者) 弁護委託料について、9番、10番についてどんな事故があったのか？

(市長) 10番については、相手側が訴訟を取り下げたので、訴訟が終わったことで成功報酬となります。9番が、市に過失があったのではないかとということで新しく訴えがありました。少し医療に専門的な分野に入る、難しい裁判になりそうだということです。詳細は担当課長からお話しします。